

真岡市地域公共交通計画（案）に対するパブリックコメント
意見と市の考え方

提出者 4名、提案総数 4項目

No.	ページ	計画内容等	提出された意見提言等の内容 要旨	回答	修正の有無 修正（案）
1	P70	施策3-1 周辺自治体等と連携した広域的な交通手段の検討について	数年後に確実に開通するであろうLRTの存在は県央地域の交通の在り方を大きく変える可能性がある、と考えます。今後、持ち家や転勤等での引っ越しをする家族が居住地域を検討するにあたって、街の便利さとともに重要な柱になるのが「子供が将来大きくなって高校・大学受験をする際に選択肢が増える場所はどこだろうか？」ということだと考えます。 今後は「LRT沿線・もしくはLRTの結節点まで簡単に移動できる交通手段があるところ」も居住地の候補になり得ます。せっかく商業施設等が充実している真岡市を維持発展させていくには、転入希望者を増やすことが重要です。そのためにも、LRTに連携する交通手段、例えば宇都宮東武行きのバスの清原工業団地行きへの変更等を関東自動車殿と協議する等、ご検討ください。	LRTへ接続する交通手段については、市内からLRTの乗継拠点である清原トランジットセンターまで路線バスでの接続を、関係自治体、事業者と随時協議しながら検討する予定です。計画案には、LRTへの接続についての記述を追加いたします。	修正有
2	-	-	計画の見直しを願う。意見交換会があれば参加します。	本計画は真岡市地域公共交通活性化協議会や地区説明会にて意見を伺ったほか、パブリックコメントにて広く意見を募集し、必要に応じて計画を見直し策定を行っております。	修正無
3	P70	施策3-1 周辺自治体等と連携した広域的な交通手段の検討について	アンケート結果などの資料が古すぎるので、市内を走っているいちごバスやいちごタクシーを利用している人を対象に便利に思っていることや不便だと感じることなどアンケートを取ってみたいかがでしょうか。 LRT事業ですが、LRTが利用できるような交通手段としてどのような案があるのでしょうか。	公共交通に関するアンケートについては、令和元年度に実施しており、いちごバスといちごタクシーの利用者には直接アンケートを実施しました。また、LRTへの接続については、市内からLRTの乗継拠点である清原トランジットセンターまで路線バスでの接続を検討しておりますので、その旨を計画内に追加いたします。	修正有
4	P71	施策4-3 生活や観光など多様な交通モードの一体的サービスの導入検討	現在、真岡鐵道の運賃授受は、整理券方式であり、下車時に整理券を手渡し現金払いを行うことが基本になっています。2021年3月21日から、栃木県内を走る路線バス（関東バス・JRバス関東）、2022年春以降にはLRTにも地域連携ICカードである「トトラ（totra）」が導入されます。 感染症防止、路線バスとLRT、そして下館駅に接続するJR水戸線、関東鉄道常総線と公共交通連携を考え、真岡鐵道にICカードの導入は不可欠なのではないでしょうか。	次世代型の交通システムの導入については、計画施策4-3に記載の事業の中で、市にとって費用対効果が最も高いものを導入していけるよう検討していきます。ICカードの件につきましては今後のシステム導入の参考意見とさせていただきます。	修正無